

保護者の皆様へ

6月末に子どもたちを狙った、許しがたい犯罪「盗撮・SNSグループチャット共有事件」が発生し、学校や教職員全体に対する信頼が大きく揺らぐことになってしまいました。この事件を受けて東郷町内の各小中学校は夏休み中に様々な取り組みを行いました。児童生徒がこれからも安心して学校に通い、そして保護者の皆様から信頼していただくために、取り組みの報告をさせていただきます。

1 全教職員と管理職との面談を通して研修を実施しました。

多くの教職員から、日々教育に情熱を注いでいたにもかかわらず、このような心ない事件によって、信頼が揺らいでしまうことに対する苦しい胸の内が聞かれました。何よりも子どもたちの心が深く傷ついたことに対してのやり切れなさや、同じ教職員として信じられない思いを切々と語る場面が多くみられました。

2 学校施設点検を実施しました。今後も定期的に実施します。

「盗撮防止のための施設点検をする際の留意事項」を作成し、各校の施設点検の指針としました。その指針をもとに、複数の教職員が目で更衣室やトイレ、特別教室はもとより、すべての施設を細かく点検をしました。「以前の点検時に比べて不審な変化はないか」という視点を大切にしながら、定期的な施設点検を行います。

3 1学期の終業式の中で、校長先生から子どもたちに向けて話をしました。

各校長先生は「先生たちを信じてほしい。」という心からのメッセージを子どもたちに届けました。これは大丈夫かなと思ったりした時は、遠慮せずに相談に来てほしいという話もしました。保護者の皆様方も、少しでも疑問に感じられることや、お聞きになりたいことがありましたら、何なりと学校に連絡ください。

私は教育長としてすべての教職員を「信頼」しています。教育のみならず、人がつくる社会の基盤は「信頼」であると考えています。教職員と保護者の皆様とが信頼関係を築き上げていくことこそが、子どもたちの学校生活にとって最も大切なことではないかと考えています。

今回の社会全体を大きく揺るがすような事案の発生を受けて「教育長メッセージ」というかたちで、保護者の皆様に夏休み中の取り組みの報告をしたいと考えました。

教職員一同、子どもたちや保護者の皆様との信頼関係を何より大切にして日々の教育活動に専心します。今後とも各学校の教育活動に対しましてご理解ご協力をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

東郷町教育委員会

教育長 鶴飼 洋一